

令和2年度 3月補正予算（追加）の概要について

■ 3月補正予算（追加）

（1）概要

一般会計は、既定の歳入歳出予算の総額に2億406万7千円を追加し、補正後の歳入歳出予算の総額を287億2,879万5千円にするもので、主な補正内容は下記のとおりです。

① 公共施設の利用者の安全を優先する安心確保のための補正

② 市内経済を好転させる活性化対策のための補正

③ 学校施設改善交付金を活用した前倒し事業(中学校施設)の補正

なお、集約の結果、歳入と歳出に差額が生じたため、財政調整基金繰入金を2,807万1千円減額することで収支を調整しています。

（2）主な歳入歳出補正予算（一般会計）

① 公共施設の利用者の安全を優先するための環境整備に伴う補正

- 大間々いきいきセンター施設管理事業＝1,171万5千円（介護高齢課）
■ながめ公園維持管理事業＝1,650万円（観光課）
■社会教育施設整備改修事業＝2,961万5千円（教育総務課）
→各施設利用者の安全を第一に考え、新型コロナウイルス感染症対策として、各施設内の空調設備を空気清浄機能付きに入替える施設整備ための増額補正です。
○工事箇所(空調入替)
介護予防複合施設、ながめ余興場、岩宿博物館、笠懸公民館、笠懸野文化ホール
○繰越明許費を設定
○新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用
- 電子図書館事業＝682万円（社会教育課）
→新型コロナウイルス感染症対策として、電子図書館の蔵書を充実させることにより、利用者が安全で快適に利用し、生涯学習の推進を図るために増額補正するものです。
○一般図書 300冊、参考図書 50冊
○新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用

② 市内経済の好転に向けた市内への個人誘客の強化に伴う補正

- 個人旅行誘客強化事業＝ 332万3千円（観光課）
→新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら、すみやかに市内への個人誘客を強化し、各種イベント開催に伴うキャンペーンチラシや事業用備品等を整備するために増額補正するものです。
○繰越明許費を設定
○新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用

③ 学校施設環境改善交付金を活用した前倒し実施(中学校)に伴う補正

- 中学校施設整備改修事業＝ 1億3,391万円（教育総務課）
→市内中学校のトイレ改修工事(洋式化)に対し、国の令和2年度予算による学校施設環境改善交付金の交付決定を受けたことから、令和3年度に予定していた施設整備事業を令和2年度に前倒して実施するため増額補正するものです。
○工事箇所・・・大間々中学校、大間々東中学校
○繰越明許費を設定
○学校施設環境改善交付金＝ 4,023万2千円
○中学校施設整備事業債(防災・減災・国土強靱化緊急対策事業債)＝ 9,070万円

(3) その他の主な補正予算（一般会計）

- 歳入
- 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金・・・8,250万3千円（企画課）

■ふるさと応援企業寄附金・・・1億円（企画課）

■駅周辺整備事業債（合併特例事業債）・・・△6,410万円（財政課）

■減収補填債・・・6,040万円（財政課）
- 歳出
- 庁舎管理事業・・・25万7千円（財政課）

■庁舎公衆無線LAN設置事業・・・61万円（財政課）

■社会教育総務事業・・・131万7千円（社会教育課）

△はマイナス（減額）を表しています。

一般会計補正予算(第11号)

(単位：千円)

会計区分	補正前	補正額	補正後	備考
一般会計	28,524,728	204,067	28,728,795	

繰越明許費

(追加)

(単位：千円)

款	項	事業名	金額
3 民生費	1 社会福祉費	大間々いきいきセンター施設管理事業	11,715
7 商工費	2 観光費	個人旅行誘客強化事業	5,263
7 商工費	2 観光費	ながめ公園維持管理事業	16,500
7 商工費	2 観光費	サンレイク草木維持管理事業	6,000
10 教育費	1 教育総務費	中学校施設整備改修事業	133,910
10 教育費	1 教育総務費	社会教育施設整備改修事業	29,615
10 教育費	5 社会教育費	社会教育総務事業	1,317
合計			204,320